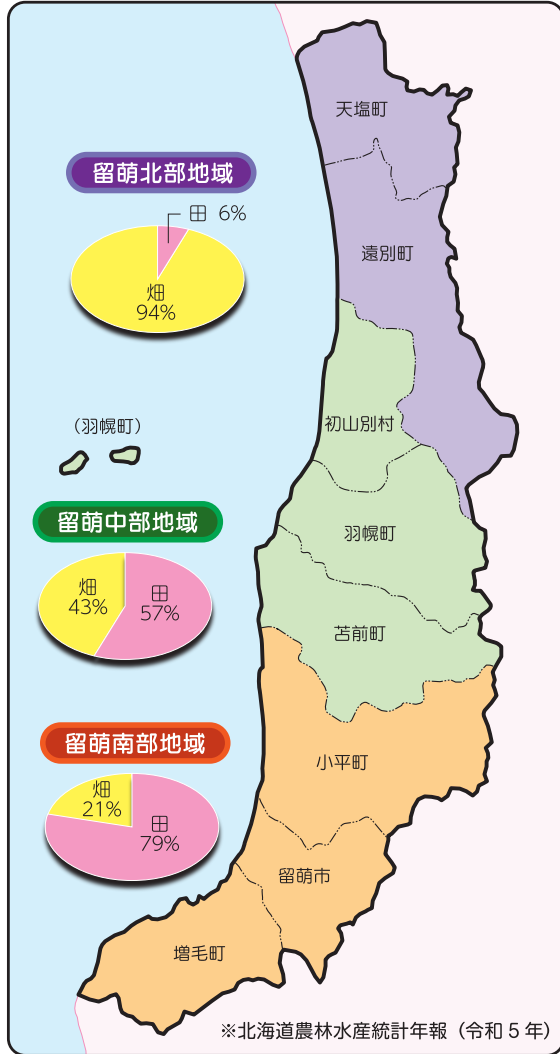


留萌管内は、北海道の北西部に位置し、全市町村が日本海に面している海岸線延長約200kmの地域で、北はサロベツ原野を挟んで宗谷地方、南は増毛山地を挟んで石狩地方、東は天塩山地を挟んで空知・上川両地方と接しています。

南北に細長い地形で気候に差があることから、大きく3地域に区分されます。北部地域(天塩町・遠別町)では酪農を主体に稲作及び畑作、中部地域(初山別村・羽幌町・苫前町)では稲作を主体に畑作及び酪農、南部地域(小平町・留萌市・増毛町)では稲作を主体に畑作及び果樹など多種多様な営農が展開されています。



留萌北部地域 ●天塩町 ●遠別町

冷涼な気候を活かし、酪農を中心とした農業が営まれています。また、稲作の北限である遠別町ではもち米が作付けされています。畑作物は小麦、てんさい、ばれいしょなどが生産されています。

主要作物
酪農、水稲(もち米)、小麦

留萌中部地域 ●初山別村 ●羽幌町 ●苫前町

水稲と畑作を中心に酪農も営まれています。水稲は低タンパクの良食味米生産地として高い評価を得ています。畑作物は小麦、豆类、かぼちゃ、メロン、スイートコーン、アスパラガスなどバラエティーに富んでいます。

主要作物
水稲(うるち米・もち米)、小麦、豆类

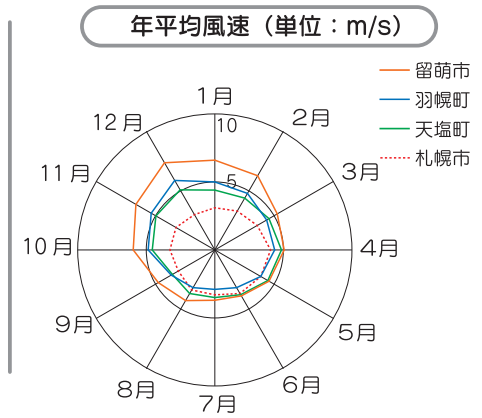
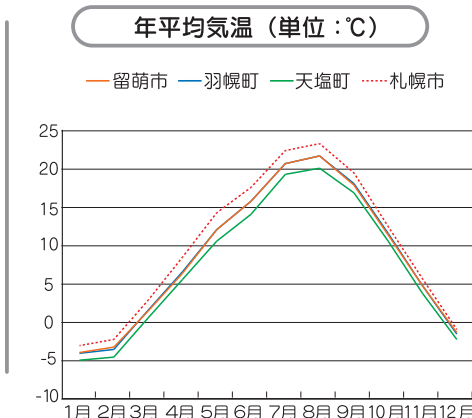
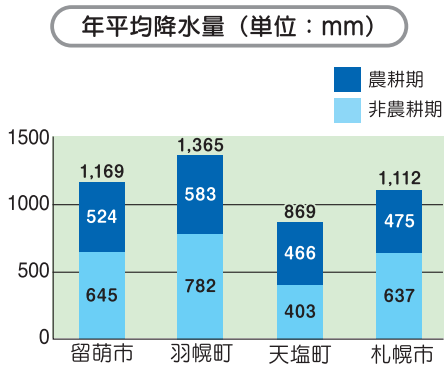
留萌南部地域 ●小平町 ●留萌市 ●増毛町

水稲と果樹を中心とした農業が営まれています。水稲は低タンパクの良食味米生産地として高い評価を得ています。果実はりんご、さくらんぼなど道内でも有数の果樹生産地になっています。畑作物は小麦、豆类、そば、かぼちゃなどが生産されています。

主要作物
水稲、小麦、りんご

冬はシベリアからの季節風が強い風雪をもたらしますが、春から夏にかけては対馬海流の影響で緯度の割に比較的温暖で、風も弱く、海も穏やかな日が続きます。

農耕期(5月～9月)の降水量は500mm前後、風速は約4m/sと札幌市とほぼ同じですが、平均気温は中南部で約17℃、北部で16℃と札幌市より2～3℃ほど低くなっています。



資料: 気象庁 統計期間: H27～R6 (10年間)